

6. 報告事項（1）2019年度導入事案

②テクニカルファウルについて

テクニカルファウルの位置づけをガイドラインにて明確化

1. ファウルとは

（1）基本的考え方

- ①ファウルには、**触れ合いに対するファウル（NF/UF）と振る舞いに対するファウル（TF）**、そして特に悪質で**スポーツマンシップに反する行為（DQ：ファイティング含む）**がある。
- ②NF/UFは5個で失格、そしてUF/TFはUF 2個、TF2個、UF/TF各1個によって失格退場となるが、**審判は「触れ合いに対するファウル」と同様に「振る舞いに対するファウル」にも毅然と判定する必要がある。**
- ③審判は、**JBAが推進する「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」**を実践するため、コート上でのイリーガルな**「触れ合い」および「振る舞い」に対するファウルを、競技規則およびプレーコーリング・ガイドラインに則り適切に判定することが求められている。**

（2）触れ合いに対するファウル

審判員は、触れ合いに対するファウルの成立基準として、以下の3原則がある。 以下略

（3）振る舞いに対するファウル

振る舞い（コンタクトのあるタウンティングを含む）に対するファウルについて、審判は感情的になることなく、競技規則およびプレーコーリング・ガイドラインに則りシンプルに判定する必要がある。テクニカルファウルにおいても、他のパーソナルファウル等と比べて特別に扱うということはなく、リスペクトフォーザゲームの観点も含め、起きた振る舞いに対して判定をする。

6. 報告事項（1）2019年度導入事案

暴言・暴力的行為によるテクニカルファウルとは（ガイドライン【参考資料4】に掲載）

1. コーチのプレイヤーに対する暴言

- (1) 人格、人権、存在を否定する言葉
〈具体例〉 最低、クズ、きもい、邪魔、出ていけ、帰れ、死ね、てめえ、この野郎、貴様
- (2) 自尊心を傷つける、能力を否定する言葉
〈具体例〉 役立たず、下手くそ、アホ、バカ
- (3) 身体的特徴をけなす言葉
〈具体例〉 チビ、デブ
- (4) 恐怖感を与える言葉
〈具体例〉 殴るぞ、しばくぞ、ぶっとばすぞ、帰りたいの？、試合出たくないの？

2. コーチの暴力的（攻撃的・虐待的含む）振る舞い（行動・行為）

- (1) 殴る・蹴るなどを連想させる行為
- (2) プレイヤーと近接（顔の目の前、腕一本分より近い距離）して高圧的威圧的に指導する行為
- (3) 「おい！」「こら！」と大声でプレイヤーを高圧的威嚇的に指導する行為
- (4) 継続的、かつ、度を越えた大声でプレイヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為
- (5) 物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

3. 第三者が不快と感じる振る舞い（行動・行為）

- (1) 不潔な服装、裸足やスリッパでの指導